

大沼参院議員、初の「女性の集い」

記者席ノート

◇…大沼瑞穂参院議員(県選挙区)は5日、山形市の山形グランドホテルで「女性の集い」を開き、国政報告と意見交換などを行った。自身初の女性集会で、大筋合意した環太平洋連携協定(TPP)交渉について「(米国産農産物と)切磋琢磨(せっさたくま)した方がいい」などと語った。写真。

先月、日本の新幹線技術をPRするため山本順三国土交通副大臣と米カリフォルニア州を訪れたことを紹介。同州の稲作や野菜づくりは日本から渡った人たちが始めたことを説明し「(米国産農産物が)入ってこないでほしいと思わず、切磋琢磨した方がいい。もっと県産農産物が輸出できるよう設備などを整えるべきだ」と述べた。

安全保障法制についても触れ、芋煮会に例えて日本の現状を説明し「(一緒に鍋を囲んでいても)やけどをした人を助けることはできない。山形が世界とどうつながっているのか、私たち一人一人が考えなければならぬ」と語った。女性経営者など約120人が集まった。

